

## アジア地域交流史

2単位 2年(前期)

### アジア地域交流史

東潮・教授/人間文化学科, 葭森 健介・教授/人間文化学科, 衣川 仁・准教授/人間文化学科, 佐久間 亮・教授/人間文化学科

【授業目的】日本・アジア・ヨーロッパ各地域の交流を通じ、各地域の歴史が世界史を形成してゆく過程を講義する。併せて学生がテーマを理解し、日本及び世界の未来について考え、国際人としての基礎知識と自覚を涵養する。

【授業概要】日本が東アジアの交流から国家を形成し、東アジア史の一翼を担うところから出発し、大航海時代を経て、東洋と西洋が出会い、世界史が形成される過程を講義する。

【キーワード】地域交流, 世界史, 国際関係

【先行科目】[先行科目]

【関連科目】[関連科目]

【履修上の注意】アジア研究コースの学生は必ず受講する事。

【到達目標】学生が将来歴史の教師となったときこのテーマを理解し、日本及び世界の未来について生徒に考えさせる実力の獲得を授業の到達目標とする。

#### 【授業計画】

1. 西洋史と東洋史-高校の教科書の構成を振り返る
2. 冊封体制と日本-日本国家の成立と東アジア史(葭森)
3. 邪馬台国と倭国(東)
4. 四-六世紀における東アジアの国際環境(東)
5. 飛鳥時代の国際環境(東)
6. 六朝隋唐国家と古代日本国家-律令制とは(葭森)
7. 大陸・半島から日本へ(衣川)
8. 東夷の小帝国-「日本」の自覚(衣川)
9. 中世日本と東アジアの交流(衣川)
10. モンゴル・ウルの衝撃-世界史の序曲(葭森)
11. 大航海時代・黒死病・奴隷(佐久間)
12. プラントハンター・植物園・帝国の手先(佐久間)
13. イギリスのインド支配-熱帯をいかに飼い馴らすか-(佐久間)
14. お茶・陶磁器・絹・銀そしてアヘン-貿易から戦争の時代へ(葭森)
15. 前期試験
16. 地域交流と歴史-授業の総括(葭森・東・衣川・佐久間)

【成績評価】授業への参加姿勢と期末試験で総合的に評価

【再試験】再試験はしない

【教科書】特にないが高校で使った日本史・世界史の教科書を持ってきて欲しい

【参考書】授業中に適宜紹介

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218349>

#### 【連絡先】

⇒ 東 (088-656-7155, [azuma@ias.tokushima-u.ac.jp](mailto:azuma@ias.tokushima-u.ac.jp)) MAIL (オフィスアワー: 各教官のそれに準じる.)

⇒ 葭森 (アジア史研究室, 088-656-7156, [yosimori@ias.tokushima-u.ac.jp](mailto:yosimori@ias.tokushima-u.ac.jp)) MAIL (オフィスアワー: 各教官のそれに準じる.)

⇒ 衣川 (088-656-7153, [kinugawa@ias.tokushima-u.ac.jp](mailto:kinugawa@ias.tokushima-u.ac.jp)) MAIL (オフィスアワー: 各教官のそれに準じる.)

⇒ 佐久間 (088-656-7152, [sakuma@ias.tokushima-u.ac.jp](mailto:sakuma@ias.tokushima-u.ac.jp)) MAIL

## アジア地域交流史

2 units 2nd-year(1st semester)

Ushio Azuma · PROFESSOR / DEPARTMENT OF HUMAN SCIENCES, Kensuke Yoshimori · PROFESSOR / DEPARTMENT OF HUMAN SCIENCES, Satoshi Kinugawa · ASSOCIATE PROFESSOR / DEPARTMENT OF HUMAN SCIENCES

Ryo Sakuma · PROFESSOR / DEPARTMENT OF HUMAN SCIENCES

**Target)** 日本・アジア・ヨーロッパ各地域の交流を通じ、各地域の歴史が世界史を形成してゆく過程を講義する。併せて学生がテーマを理解し、日本及び世界の未来について考え、国際人としての基礎知識と自覚を涵養する。

**Outline)** 日本が東アジアの交流から国家を形成し、東アジア史の一翼を担うところから出発し、大航海時代を経て、東洋と西洋が出会い、世界史が形成される過程を講義する。

**Keyword)** 地域交流, 世界史, 国際関係

**Fundamental Lecture)** [先行科目]

**Relational Lecture)** [関連科目]

**Notice)** アジア研究コースの学生は必ず受講する事。

**Goal)** 学生が将来歴史の教師となったときこのテーマを理解し、日本及び世界の未来について生徒に考えさせる実力の獲得を授業の到達目標とする。

**Schedule)**

1. 西洋史と東洋史-高校の教科書の構成を振り返る
2. 冊封体制と日本-日本国家の成立と東アジア史 (葭森)
3. 邪馬台国と倭国 (東)
4. 四-六世紀における東アジアの国際環境 (東)
5. 飛鳥時代の国際環境 (東)
6. 六朝隋唐国家と古代日本国家-律令制とは (葭森)
7. 大陸・半島から日本へ (衣川)
8. 東夷の小帝国-「日本」の自覚 (衣川)
9. 中世日本と東アジアの交流 (衣川)
10. モンゴル・ウルの衝撃-世界史の序曲 (葭森)
11. 大航海時代・黒死病・奴隷 (佐久間)
12. プラントハンター・植物園・帝国の手先 (佐久間)
13. イギリスのインド支配-熱帯をいかに飼い馴らすか-(佐久間)
14. お茶・陶磁器・絹・銀そしてアヘン-貿易から戦争の時代へ (葭森)
15. 前期試験
16. 地域交流と歴史-授業の総括 (葭森・東・衣川・佐久間)

**Evaluation Criteria)** 授業への参加姿勢と期末試験で総合的に評価

**Re-evaluation)** 再試験はしない

**Textbook)** 特にないが高校で使った日本史・世界史の教科書を持ってきて欲しい

**Reference)** 授業中に適宜紹介

**Contents)** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218349>

**Contact)**

⇒ Azuma (+81-88-656-7155, azuma@ias.tokushima-u.ac.jp) **MAIL** (Office Hour: 各教官のそれに準じる。)

⇒ Yoshimori (Office of Asian History, +81-88-656-7156, yosimori@ias.tokushima-u.ac.jp) **MAIL** (Office Hour: 各教官のそれに準じる。)

⇒ Kinugawa (+81-88-656-7153, kinugawa@ias.tokushima-u.ac.jp) **MAIL** (Office Hour: 各教官のそれに準じる。)

⇒ Sakuma (+81-88-656-7152, sakuma@ias.tokushima-u.ac.jp) **MAIL**